

ひとりぼっちをつくらない地域づくり 社協だより No.247 4月 2017

ふくし豆知識 毎年4月2日は 国連の定めた 世界自閉症啓発デー



知ること、理解することで、 発達障害のある人だけでなく、誰もが幸せに暮らすことができる社会の実現へ

平成19年開催の国連総会において、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」とすることが決議されました。

それ以降、自閉症をはじめとする発達障害を理解してもらう取り組みが行われ、世界各地のランドマークでは「癒し」や「希望」などを表す「青色」でライトアップされます。

（★姫路城でもその日は青く光ります）

発達障害の方は、物の見え方・感じ方が違うので驚くこともあるかもしれませんが、個性と考え「大人な」対応で見守ることにより大きな才能が開花する可能性もあります。

ブルーに灯されたランドマークを目にされた方が、少しでも自閉症について理解し、この日以外も自閉症について考え、寄り添うきっかけになるように…

毎年 4/2~4/8は、 発達障害啓発週間

ありがとうございました 稲美町老人クラブ連合会様より

健康づくりの活用物品として以下のスポーツ用品をご寄附いただきました。

- 囲碁ボール 4組
 - カラーリング 1組
 - ノルディックウォーキングポール 40組
 - 普及型（室外用）ペタンク 2組
- 稲美町社会福祉協議会のみなさんにお世話になっております「いきいきサロン」における新しい種目と健康に活用できるようにと用具の贈呈を行いました。これらの用具を有効に活用いただき、健康を維持して元気の源づくりに努めましょう。
- 稲美町老人クラブ連合会 会長 鷲野 隆夫

ボランティアページ no.141

VOICE 善意の預託ありがとうございました (平成29年2月受付分)

金銭寄附	氏名(敬称略)	金額	内容
	匿名(1)	¥200,000	寄附
	天満小学校(2)	¥17,298	寄附

物品預託	氏名(敬称略)	物品	内容
	カープス稲美(3)	食品203kg	寄附
	匿名	机1、椅子4脚	寄附
	匿名	骨伝導機能付き電話機	寄附

(1) 寄附者の指定する3事業所(いなみ訪問看護ステーション・療養通所介護事業所ひだまり畑・訪問介護事業所スマイル173)に指定抽出しさせていただきました。

(2) 天満小学校の皆さんよりコツコツ集めてくださったアルミ缶の収益をご寄附いただきました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

(3) カープス稲美様より主に生活にお困りの方への支援に使わせていただきます。そのほか、社会福祉法人こぼと会、NPO法人つくしとすぎの会へ配分させていただきました。173名の方からのご協力で集まったと伺いました。ありがとうございました。



VOICE 皆さまからの福祉会費で実施する事業です

毎月第2金曜日は、社協オープンカフェ

- 4/14(金) コミュニケーション麻雀がふえ(講師/有志ボランティア)
- 5/12(金) 昭和歌謡がふえ(演奏/西川正人氏)

◆とき 原則毎月第2金曜日 10:00~11:30
◇ところ 障害者ふれあいセンター 2階 多目的室
◆利用料 フリードリンク 100円(お茶菓子付)

♪我が家のスマイル リレーでつなごう♪

スマイルバトン NO.81

(左から)
米田 伊織くん(7歳)
美織ちゃん(6歳)
麻織ちゃん(7歳)

ともだち100人できるかな♪

【ご案内】平成29年度 ふるさとひょうご創生塾塾生募集!!

地域課題を学び、人間力を高め、新しいリーダーとして地域活動を実践するための講座です。

- ◎募集期間 平成29年3月1日~4月30日
- ◎塾期間 平成29年5月~平成31年3月 毎月第2・3土曜日
- ◎定員 約30名
- ◎受講料 30,000円(年額)
- ◎塾開設場所 神戸クリスタルタワー内セミナー室

【問合・募集案内請求先・申込先】
(公財)兵庫県生きがい創造協会
ふるさとひょうご創生塾事務局神戸分室
〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-1-3
神戸クリスタルタワー6階(生涯学習コーナー内)
TEL.078-360-9015 FAX.078-360-9016

法律相談 原則毎月第2木曜日13時30分~15時30分 障害者ふれあいセンター 前日正午までの予約要(第1木 総合福祉会館(第3木)母里福祉会館(第4木)障害者ふれあいセンター) 079-492-8668まで
心配ごと相談 原則毎月第1・3・4木曜日13時30分~14時30分 予約不要(第1木 総合福祉会館(第3木)母里福祉会館(第4木)障害者ふれあいセンター) 079-492-8668まで

オープンカフェ 原則毎月第2金曜日 10時~11時30分 障害者ふれあいセンター フリードリンク100円
善意銀行 随時 福祉会費 毎年6月 共同募金 毎年10月1日~12月31日 歳末助け合い募金 毎年12月 いつもあたたかいご協力ありがとうございます

ボランティアページ no.141

ボランティアセンターからのお知らせ

人の役に立ちたいけど、何をすればいいかわからない...

ボランティアをしたいけど何が自分に合ってるかわからない...

空いた時間を誰かのために活かしたい...



ボランティア活動希望者募集中

春ですね、何か新しい活動をはじめようと思われている方、ボランティア活動をはじめてみませんか。

得意な事、好きな事を活かして活動することができます。

ボランティアの活動分野、取り組み方はさまざまです。あなたにあった方法を見つけるお手伝いをします。

<活動内容一例>

- **こどもに関わるボランティア**
 - ・おもちゃライブラリー (木のおもちゃを通して、未就学児を対象とした交流の場を開催)
- **高齢者に関わるボランティア**
 - ・いきいきサロンボランティア (各地域で月1回開催されている「いきいきサロン」の運営サポート)
- **自然に関わるボランティア**
 - ・のじぎく会 (町内の里山で密生した竹の整理や間伐した竹での竹炭づくり)

わだい

◆2/10 (金) 福祉学習 母里小学校6年生

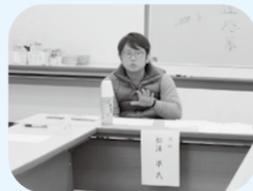
講師/佐竹 克己氏 (町内在住)

車椅子利用者の佐竹さんから「病気の後、色々なことが変わったけど、前向きな気持ちは変わっていない。」というメッセージを伝えて頂きました。



◆2/17 (金) 小中学校 福祉学習担当者会議

講師/松浦 準氏 (町内在住)



町内小中学校の福祉学習担当の先生方に参加していただき、「福祉学習」をテーマに車いす利用者で小学校で車いす学習指導のご経験のある松浦さんにお話を伺いました。



松浦さんから「できないことよりできることに目を向けていく」大切な視点を学びました。

【松浦さんからのメッセージ】

◆車いす体験をする際、でこぼこ道を通る学習があるが、普段車いす利用者はでこぼこ道を車いすです通らない。なので、自分が行う車いす体験ではできるだけ普通の生活と同じことをするようにしている。例えば電気のスイッチを消す、手を洗ってみるなど。体育館のドアをあける動作はとて難しいと感じてもらえる。

◆車の乗り降りが大変なので、雨の日は外出しない。大学の卒業制作で車いすの人が利用できる傘を作った。

【質疑応答】

Q.「車いすの生活は不便ですか」と聞かれることはあるか？
A.空を飛べなくて不便ではないですか、という質問と同じ。子どもが行動範囲を広げる為に自転車に乗るように、移動するために車いすに乗っている。「自分ができる事」を意識している。

【参加者の感想】

- お話を聞いて考え方が変わりました。前までは、「手伝ってあげたいけど、どうやって声をかければいいのかかわからない。どうしよう。」と思っていました。でも、今は「優しく声をかければ大丈夫」ということがわかりました。
- 車いすに乗ってみると、押している人のことを信用しないと、こわかったです。町でもし車いすの人を見つけたら声をかけてあげたいです。
- 買い物で物を取る時、取りにくいことがわかったので、これからは声をかけようと思います。
- 佐竹さんのハーモニカ演奏を聞いていたら、体が不自由な方々の努力や挑戦している様子が目に浮かび、涙が出るほど感動しました。

～認知症は、もう特別なことではありません～

誰もが住み慣れた地域で暮らすために

まわりの人が「杖」になる
足の不自由な人が車いすを利用して生活するように、
認知症の人が住み慣れた地域で暮らすには、
「適切な見守りと声かけ」が大事

おたがいに 共感しあえる地域へ

介護でしんどい思いをされているはずのご家族が「誰にも知られたくない」と孤立しないために、わたしたちができること

ご利用ください

自治会などで理解を深めたいときは

認知症サポーター養成講座 (出前)

「認知症への正しい理解を深めるため」「温かく見守る応援者を増やしたい」等の目的で出前講座を実施しています。自治会や職場などの研修会としてご利用ください。

- 北山自治会出前講座 (H29.3.11 参加者34名)
～まずは「気かけ合う」ことから～
すぐに取り組みそうなこと、自分なら何ができるかについて考える機会となりました。

家族が認知症で情報等がほしいときは

「ほっとファミリー (認知症を学ぶ会)」

認知症のご家族を支えている方々が「ほっとできる場」をつくるための会です。

悩みの共有や勉強会などを行っています。
原則 毎月第4木曜日10:00～12:00
障害者ふれあいセンター 予約不要

～ご存知ですか～ MCI (軽度認知障害)

正常な加齢と認知症との中間の段階 (グレーゾーン) にあたる状態。現在、認知症予備軍とも言えるMCIの方は400万人存在すると言われています。

MCIから認知症へ進行しないためには、日常的かつ意識的に頭と体を使うことが有効です。

- (例)
- ・体験したことを意識的に思い出してみる。(数日前のことを日記に書く)
 - ・複数の物事を同時に行う。(料理を何品か同時に作る/複数で話をする/家事や用事を並行して行う)
 - ・段取りを考えて取り組む。(旅行の計画を立てる/買い物へ行く前に、買うもの・予算・時間などを計画して行く)
 - ・ウォーキングなどの運動を週に3～4回、1日30分程度行う。(簡単な計算やしりとりをしながら効果的)

- 【おすすめ計算例】
- ・100から7を引きつづける
 - ・100から3を引きつづける
 - ・100から3と9を交互に引きつづける

【MCIチェックリスト】

- 本人か家族からの、物忘れの訴えがある
- 記憶障害以外の認知機能は正常な状態である
- 日常生活動作は自立している
- テストや検査を受けても、認知症ではない
- 高齢などでは説明できない記憶障害 (記憶力の低下) が見られる

社会福祉協議会 (臨時職員) 募集

- **職務内容** ボランティア活動の推進に関わる相談業務、イベントの企画・立案・実施および一般事務
- **採用予定人数** 1人
- **応募資格** 簡単なパソコン操作のできる方、かつ、普通自動車運転免許を有する方
- **雇用形態** パート
- **給与** 時給850円
- **雇用期間** 平成29年5月1日～平成30年3月31日 (勤務状況等により雇用期間延長あり)
- **勤務時間** 9:00～16:30
- **勤務日** 月～金までのうち週4日 (土日祝休み)
- **受付期間** 4月3日 (月)～4月14日 (金) (郵送可、4月14日 (金) 必着)
- **提出書類** 履歴書 (自筆に限る)
- **選考方法** 1次選考 書類
2次選考 面接 (4月中旬)
- **勤務地** 稲美町社会福祉協議会
問合せ先 〒675-1105
加古郡稲美町加古4369-3
障害者ふれあいセンター
TEL: 079-492-8668
FAX: 079-492-9170
EMAIL: inami-shakyo@bb.banban.jp

編集発行/問合せ・申込) 社会福祉法人 稲美町社会福祉協議会

〒675-1105 兵庫県加古郡稲美町加古4369-3 障害者ふれあいセンター1階
TEL079-492-8668 FAX079-492-9170 Eメール inami-shakyo@bb.banban.jp
(社協事務局 開館時間) 月～土 (日祝以外) 8:30～17:15

※社会福祉協議会は、社会福祉法第109条に基づき、すべての市町村に設置されている住民の立場から福祉を推進する団体です

編集発行/問合せ・申込) 社会福祉法人 稲美町社会福祉協議会

〒675-1105 兵庫県加古郡稲美町加古4369-3 障害者ふれあいセンター1階
TEL079-492-8668 FAX079-492-9170 Eメール inami-shakyo@bb.banban.jp
(社協事務局 開館時間) 月～土 (日祝以外) 8:30～17:15

※社会福祉協議会は、社会福祉法第109条に基づき、すべての市町村に設置されている住民の立場から福祉を推進する団体です

ほっとファミリー(認知症を学ぶ会) 原則毎月第4木曜日10時～12時 障害者ふれあいセンター ■さくら草の会(介護者の会) 原則毎月第4金曜日10時～12時 障害者ふれあいセンター
介護相談・認知症相談 相談随時 ますはお電話ください(月～金 9時～17時 祝日除く) 079-492-8668(20時まで)

相談支援事業所(町内在住の障害をお持ちの方の自立支援について) 相談随時 ますはお電話ください(月～金 9時～17時 祝日除く) 079-492-8668(20時まで)
生きつらさを抱える成人をもつ親のつらい 原則毎月第2水曜日10時～12時 障害者ふれあいセンター